

令和 7 年度 学校自己評価システムシート（さいたま市立 植水 小学校）

学校番号 061

【様式】

学 校 教 育 目 標	かしこく なかよく たくましく ～豊かでたくましい心と体を持ち、自己の能力を存分に発揮できる子どもの育成～
目 指 す 学 校 像	○学びを創造し、一人ひとりが輝く学校 ○子どもたちにとって、安心・安全な学校 ○進んで地域・家庭と連携・協働できる学校
重 点 目 標	1 学力の基礎的・基本的事項の確実な定着 2 子どもたちがのびのびと自らを高めることができる落ち着いた環境を作る 3 子どもたちを「よりよく変容させる」ことで、地域・保護者からの学校に対する信頼を勝ち取る 4 事故やケガを未然に防止して、子どもたちにとって安心・安全な環境を作る 5 常に学ぶ意欲をもち、互いに磨き合うことができる職員の育成

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学びの質の向上に
関する取組

心のサポートに関する取組

学校「へいこ」に関する取組

教育環境の整備に
関する取組

教職員のキャリア形成に
関する取組

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標					年 度 評 価			実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	【現状】 ・子どもたちに学力の基礎的・基本的事項の確実な定着のために、①朝の国算タイムの実施 ②研修において、研究課題の克服や授業改善に取り組んでいる。 ・R06 年度「さいたま市学習状況調査」結果 →3～5 年【国→▼ 算→▼】 6 年【国語→▼ 算→▽】 【課題】 ・子どもたちに学力の基礎的・基本的事項が定着していないために、それらを活用して課題を解決することが難しい。	○学力の基礎的・基本的事項の確実に定着させる	・朝の「国算タイム」の計画的な実施 ・子どもたちに「母語への気づき」を多く味わわせる(日本語についての知識を高めさせる)。→①ことばの世界(毎週)②日本語と外国語(G.S.)を比較して ・研修において、日々、授業改善に取り組んでいく。	○R07 年度「さいたま市学習状況調査」平均正答率 →3～6 年 :「国語」→○ :「算数」→○ ※「○」→市の平均正答率を 3pt 未満上回っている					
		○学習規律の徹底及び落ち着いた学習環境の維持	・正しい姿勢、丁寧な文字を書く指導の徹底する。 ・何でも言える雰囲気を常に教室に醸し出し、「わかった・できた喜び」をたくさん味わわせる授業を実践する。	○学校評価アンケート「学習」(児童)項目に関する肯定的回答→90% (R06 年度→81%)					
2	【現状】 ・子どもたちは毎日元気に、勉強・遊びに取り組んでいる。 ・R06 年度「いじめ」「不登校」件数 「いじめ」→6 件 「不登校」→7 件 【課題】 ・「当たり前のことは当たり前」(あいさつ・清掃・給食)の徹底が不十分である。 ・アンケート結果により自分に自信がもてない	○誰もが安心・安全な環境で学校生活を送ることができる(いじめ・不登校件数の削減)	・いじめに対しては、未然防止を念頭に置きながら、子どもたちへの声かけや明るい学校・学級づくりをする。 ・子どもと担任の信頼関係を強固にし、何でも言い合える間柄になることで、不登校の減少を目指す。	○学校評価アンケート「学校はトラブルに対して迅速かつ丁寧に対応している」(保護者)項目→肯定的回答 90%以上 (R06 年度→89%) ○いじめの未然防止、起きてしまった時の迅速、丁寧な対応の徹底と不登校の件数削減					
		○自分自身(子ども)に自信をもたせる	・担任が常に「当たり前を当たり前」(あいさつ・清掃・給食)の姿を示し、子どもたちと共にその徹底して取り組む。 ・子どもたちに、何事にも「目標」→「計画」→「実行」の意識をもって取り組ませる。 →「達成感/充実感」を多く経験させる場を作る。	○学校評価アンケート「毎日元気に登校している」(児童・保護者)項目に関する肯定的回答 95%以上 (R06 年度(児童)94%(保護者)96%)					
3	【現状】 ・自治会や青少年育成会などの地域関係機関と協力しながら、子どもたちのよりよい成長のための行事を行っている。→「社会を明るくする運動」「植水地区運動会」「植水青少年子どもまつり」など 【課題】 ・地域・保護者の方々に学校・子どもたちの実態をより知ってもらいたい。 ・地域・保護者の方々が想う「育てて欲しい子どもたちの姿」とそのための取組の共有ができていない。	○本校の現状を地域・家庭に知ってもらう	・コミュニティスクール(年 3 回)にて本校の実態(学力・体力・生徒指導など)について説明する。→理解していただき課題克服のための話し合いを行う。 ・学校だよりや学校 HP(毎日更新)で子どもたちの様子について発信していく。	○地域・家庭・学校で、子どもたちの実態の共有 ○学校評価アンケート「学校や子どもたちの様子を伝えているか」(保護者)項目に関する肯定的回答 90%以上					
		○地域・家庭・学校で子どもたちを見守る体制を強化する	・将来の植水地区、さいたま市を担う大人に成長してもらうために何をすべきなのかコミュニティスクールで熟議を重ねる。 ・行事開催のため地域関係機関と協働し、多くの参加者を確保するために周知を徹底する。	○学校評価アンケート「地域協働」(保護者)項目に関する肯定的回答 90%以上					
4	【現状】 ・誰もが気持ちのよい環境の中で、学校生活が送れるよう、子どもたちは日々の清掃活動に取り組んでいる。 ・毎月の安全点検(体育施設は月 2 回)を行っている。 ・子どもたちが、日々安全で落ち着いた生活を送れるよう全職員、生徒指導部から声かけを徹底している。 【課題】 ・学校内でのケガの件数(保健室で対応) →R06 年度(12 月 20 日現在)656 件 ・子どものケガを未然に防ぐために職員の意識を高める。	○学校内での子どものケガの件数を削減させる	・気持ちのよい環境の整備・維持のため、日々、頭を使った清掃活動を行う。 ・ケガの多い授業(体育・図工・理科など)における事故防止研修を各主任が行う。 ・落ち着いた環境のために、全職員、生徒指導部による声かけを徹底する。	○子どものケガの件数を昨年度比 20%削減					
		○学校施設の瑕疵による事故を未然に防ぐ	・安全点検は、子どもの目線で、叩いて、ゆすつてを基本とする。 ・安全点検結果から、要修繕箇所があった場合には即修繕をする。 ・適切かつ効果的な予算執行のために、管理職と事務職員による予算会議を実施【年 3 回】	○学校施設の瑕疵による事故 ゼロ ○安心・安全な環境の整備・維持のために効果的な予算の執行					
5	【現状】 ・「子どものよりよい変容」のために、学校全体として互いに協力し合いながら職務に励んでいる。 【課題】 ・日々の業務に追われ、教師としての資質を高めるための自己研鑽に励むことが難しい。	○なんでも言える風通しの良い職場環境	・「子どものよりよい変容に」ために気付いたことは互いに声かけたり、考えを提案したりする。 ・時間外在校時間の削減のために(全職員 45 時間以内)→①「仕事は分担(割り算の考え)、終わった喜びはみんなで(かけ算の考え)」を徹底する ②割振調整(勤務を割り振ると同時に調整取得日を記入)や年休の計画的な取得の推奨 ③会議時間を削減し、子どもや職務に向き合う時間を確保する	○学校評価アンケート「働きやすい職場」(職員)項目に関する肯定的回答 60%以上 (R06 年度→39%)					
		○働き方を意識して職務に励む		○・一人当たりの時間外在校時間/月平均を昨年度比 20%削減 【R06 年度→29 時間/月】 ○「自己研鑽フォルダ」を使って、各自学んだことの共有					